

泗水支部

まつだ ゆうだい
松田 雄大

プロフィール

- 就農年数 3年
- 生産品目
和牛肥育 飼養頭数210頭
- 父・浩さん、母・久美子さんと
家族経営



事務局 古市職員

組織活動を通じて 農業への理解を 図りたい



地域との関わりが 大事な農業

皆さん初めまして！泗水支部の松田です。青壮年部に加入して3年目で、わからないことも多いですが、どうぞよろしく願います。

趣味は、釣り・映画鑑賞・ゲームで、農業を始めてからは体を動かす仕事が多いので、インドアの趣味が増えました。

私の前職は食品加工で、3年前に就農しました。農業を始めようと思ったきっかけは、前の職場で農家さんと関わる機会があり、話していく中で私もやってみたいと思ったからです。まわりで農業を頑張っている方を見ていて、農業は誰でもできる仕事じゃないかと考えていました。両親が一生懸命経営している姿を見て、自分は恵まれた環境にいるなと感じたんです。家の仕事は手伝う程度だったので、日々勉強することばかり。両親が仕事しているのを見て学び、疑問に思っていることは聞きながら取り組んでいます。

就農してわかったことは、草刈りなどの管理作業といった環境を整える仕事がとても多いということ



田植え交流のようす

とです。農業は大変な仕事ですが、地域との関わりがとても大切だと思います。また、肉質の良い牛を育てるために、餌の内容や食べさせるタイミングなど、こちらのアクションに対して、牛が応えてくれることへのおもしろさを少しずつ感じているので、もっと頑張りたいです。時代に合わせて対応し、しっかりと経営ができるように努力しようと思っています。

食育交流の伝統を 引き継いで

私は、地元の先輩に誘われて青壮年部に加入しました。泗水支部では、管内の小学校での田植え、



稲刈り、野菜の苗植えなどを行っています。また、保育園でもちつきを行い、子どもたちと交流し、食の大切さを感じてもらう活動に取り組んでいます。母校の泗水西小学校は、毎年全校児童で田植えと稲刈りをしています。私も小学生の時に参加し、田植えの後にはみんなで泥んこになって遊んで、青壮年部の皆さんと交流したのを覚えており、いい思い出となっています。約30年続いているこの伝統の活動に、今は青壮年部の一員として参加していることを大変嬉しく思います。泗水地区も宅地が増えているので、移り住んで来られた方々に農業を理解してもらえような交流活動をもっと取り組めたらいいなと考えています。